

① 研究課題名：

前立腺癌に対する通常分割又は中程度寡分割照射を用いた陽子線治療後の患者QOLに関する検討

② 研究の目的：

陽子線治療は前立腺癌に対する治療法として有用な治療選択肢ですが、その治療後の患者さんのQOL（生活の質）に関するデータは限られています。本研究の目的は、当院にて前立腺癌に対する陽子線治療をされた方に回答していただいたQOLアンケート結果を集計し、陽子線治療後のQOL変化を明らかにし、将来の患者さんに対して陽子線治療に関するより正確な情報を提供することです。また、分割方法（治療回数）によるQOL変化の違いを比較することにより、最適な分割方法を検討することも目的としています。

③ 研究期間：西暦 2021年8月～ 2021年9月30日

④ 研究代表者及び研究実施施設一覧

研究代表者：名古屋市立大学医学部附属西部医療センター 陽子線治療科 中畷 晃一郎

研究実施施設：名古屋市立大学医学部附属西部医療センター

⑤ 研究の対象：

2013年2月～2016年11月までに名古屋市立大学医学部附属西部医療センター陽子線治療科において、前立腺癌に対して通常分割（37回または39回）もしくは中程度寡分割（20回または21回）照射を用いた陽子線治療を受けた方。

⑥ 調査項目：

- ①基本情報：（陽子線治療前）年齢、TNM分類、グリーソンスコア、PSA、リスク分類、前立腺体積、併存症の有無（高血圧・糖尿病）など
- ②陽子線治療に関する情報：陽子線治療開始日・終了日、線量、分割回数、照射方法
- ③ホルモン治療に関する情報：併用の有無、使用薬剤内容、開始日・終了日など
- ④QOL評価：患者QOLアンケート結果
- ⑤転帰：再発の有無など

⑦ 研究の方法：

研究担当医師が、対象となる方の診療録より「⑥調査項目」の情報を調査し、「症例調査票」に記入します。得られた情報は、集計・解析されます。

⑧ 研究成果の公開

学会、論文で公表することを予定しています。

⑨ 個人情報の保護

あなたのカルテ番号とは異なる新たな番号を付番し、その番号を用いて症例調査票を作成します。このため、個人情報が外部に漏れることはありません。

この研究に参加されたくない（あなたのデータを使ってほしくない）場合は、医療者にその旨をお伝えください。この研究に用いるデータからあなたの情報を削除いたします。削除のお申し出をされた場合であっても、あなたが不利益を受けることはありません。

⑩ 利益相反

本研究の計画・実施・発表に関して可能性のある利益相反は存在しません。

⑪ 問い合わせ先

研究事務局	診療科	研究責任者
名古屋市立大学医学部附属西部医療センター 住所：〒462-8508 愛知県名古屋市北区平手町1-1-1	陽子線治療科	中嶋 晃一郎 TEL：052-991-8121（代表）